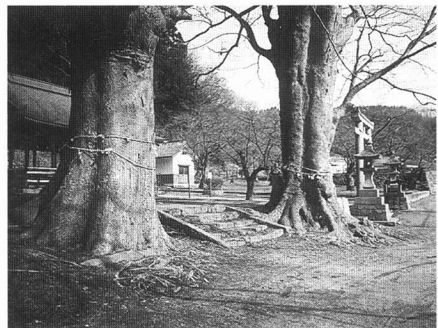


春日神社

布引山の南側山麓には町の指定有形文化財である「春日神社」が位置している。これは、嘉祥三年（八五〇年）に伊達家の祖である山蔭中納言郷により、奈良の春日大社からこの地に勧請されたと伝えられる。本殿と拝殿、御供殿（長床）があり、それらの南側には、御神木である二本の大ケヤキがある。拝殿は元文五年（一七四〇年）、長床は寛政八年（一七九六年）に建造されたものである。現在の秋季祭礼は十月十四日に近い土曜日から三日間である。

春日神社の杜を「楓山」と言い、布引山と楓山を総称して「匿搦山」（ノノメキヤマ）と言っていたそうである。「ノノメキ」とは、カラメカクレルと言うような意味がある。

現在の春日神社の祀官は四十一代目にあたる。創建当時から江戸末期までの遠藤祀官の墓地は、宮ノ入からテレビ塔に行く途中の雑木林の中（字宮ノ入三十四の二）にある。



町指定の文化財「春日神社」

アクセス

三百田・下拍子から登るには、JRバス「福島駅東口」川俣高校前、福島交通バス「川俣」掛田、「福島駅東口」原町」及び「各方面」川俣高校前」線で「中島」下車。

小ヶ坂から登るには、福島交通バス「川俣」掛田」で「岩阿久」下車

小神笠松及び菖蒲池から登るには、福島交通バス「川